

平成23年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	町内巡回バス運行事業		基本目標	公共交通の充実			
担当課(局)・係	政策推進課	総合政策係	記入者	宮本 渉	評価者	森 弘道	開始年度 H13 年度
評価状況	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 評価対象外 ※評価対象外を選択した場合は、その理由を下段から選んでください						
	理由	<input type="checkbox"/> 法定受託事務である <input type="checkbox"/> H24年度以降実施しない <input type="checkbox"/> その他(※下段に理由を記入)					

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	対象(誰を・何を) 交通弱者(主に高齢者)							
	意図・目的 移動手段確保とともに温泉利用者の増加に資する。							
事業の内容	高鍋温泉めいりんの湯と町内各地域を結ぶコミュニティバスを運行する。平日(火曜日から金曜日まで)に、1日2路線を運行(全4路線)。							
22年度決算額	3,110	千円	23年度予算額	3,505	千円	事業従事者数	H22 0.16 人 H23 0.16 人	
主な支出項目	委託料	3,110	千円	国庫支出金		22年度人件費	1,151 千円	
			千円	県支出金		23年度人件費	1,142 千円	
			千円	地方債		23年度予算額における一般財源の割合(H23)	100.0 %	
			千円	一般財源	3,505	千円	根拠法令・要綱等があれば記載してください	
			千円			千円		
町の補助事業	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 町単独補助 <input type="checkbox"/> 国県補助			補助事業名				
	補助交付団体			補助金要綱				
	22年度	補助額	#N/A	円	補助の形態	#N/A	23年度補助額	円 終期 年度
		団体の決算額	#N/A	円	昨年度までの補助金見直しの状況・検討委員会での決定事項等			
		補助の割合	#N/A	%				
繰越額		#N/A	円					

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	1 利用者数	交通の利便性向上及び高鍋温泉の町内容の確保を目指したが、口蹄疫等の影響により利用者数は減少した。
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	1 委託料	サングリーン観光に委託し、巡回バスの運行を行った。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	21年度	22年度	23年度	
成果指標	利用者数	目標値	人	12,000	12,000	12,000
		実績値		10,832	7,612	
		達成率	%	90.3%	63.4%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	委託料	目標値	千円	3,290	3,504	3,505
		実績値		3,290	3,110	
		達成率	%	100.0%	88.8%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

事務事業名	町内巡回バス運行事業	担当課(局)	政策推進課
-------	------------	--------	-------

◎事務事業の評価

	評価する項目	点数	
		自己評価	委員評価
(必要性) 町内の交通弱者(特に高齢者)が温泉を利用するために必要な事業であり、廃止による影響は大きい。利用者のほぼ全員が温泉利用者であり、コミュニティバスとは言い難い状況はある。路線の認可を受けていた委託業者の破産申請により、平成23年3月からは運行できていない(無料による運行を行っている)。今年度中に路線の見直しを含めた運行再開を予定。	◎目的からして町が行うべきか	2	-
	◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか	2	-
	◎社会情勢(住民ニーズ)に適應しているか	2	-
	◎事業廃止による影響があるのか	2	-
有効性 巡回バス利用者は、事業開始以来平均して年10,000人程度で推移しており、年々増加傾向であったが、平成22年度は口蹄疫まん延防止を目的とした運休等の影響により利用者数が激減している。温泉利用者には有益な事業。今後は、他の公共施設・医療機関など地域住民の交通の利便性向上を目的に、路線の見直し	◎目標に対して成果は得られているか	1	-
	◎すでに目的は達成されていないか	2	-
効率性 平成19年度に運行路線を5路線から4路線に減少し経費節減を図った。今年度路線の見直しを行い、国の補助事業の活用を検討する。	◎活動量の効果は実際に上がっているか	2	-
	◎費用対効果が十分に認められるか	1	-
協働性 なし。	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	0	-
合計(最高18点)		14	-

※町補助をしている場合のみ記入

(公益平性) 他	◎公益性が高いか		-
	※公益性:不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与していること		-
	◎行政では対応できない部分を、補助事業がカバーしているか		-
	◎町民の理解が得られる事業であるか		-
合計(最高4点)		0	-

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価 ◎担当者の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	巡回バス利用者は大方が交通手段を持たない温泉利用客の高齢者である。本年度には陸運局の路線認可も必要となっているが、町内の全域をカバーできるような見直しも必要となっている。	今後の方向性			
		事業の方向性 拡充 現状維持 縮小 廃止			○
		コスト			

事務事業評価委員会 評価欄	事業	拡充	◎温泉利用者には必要な事業である。今後は、町が権利を取得し、巡回バス委託等で支障が無いようにしてもらいたい。 ◎温泉利用者だけでなく、利用できるような工夫も必要と考えます。 ◎温泉バスの形から町内循環バスへの転換が望ましいが、将来を考えた路線の認可を検討してほしい。 ◎委託していた業者が倒産したことで、新たな取り組みとなるが、これを契機により使いやすい効率的な運行事業を検討してほしい。 ◎将来的に町内の主要箇所を巡回するバス路線構築にあたっては、事業及びコスト両面とも拡充する。
	コスト	現状維持	
	委員評価	-	
	外部評価	-	